

復旧工事中の五高記念館内部を見学する宮原さんと原田学長

宮原 横も①地域貢献型に賛成です。NHKも今、地域重視の改革が進んでいます。「これまで東京の本部で決めていたことを、プロックごとに」という改革です。九州の場合、福岡での裁量が大きくなりました。例えば熊本が地震で大変ならば、福岡のスタッフを送り込む等、プロック長の裁量で可能になりました。全国均一だと、地域によって違うニーズに対応できない。そこを変えていこうというものです。最近、九州は災害が多いし、NHKに求められるのは災害報道の充実だと、時間割の変更を少しずつ進めています。地域放送局は、地域のために貢献する役割が求められています。

NHKの「いだてん」。五郎には、嘉納治五郎先生もいらしゃいましたし、漱石とハーン、熊大をPRするのに大変個性的な人がいますよね。それらも活用しながら地方創

五高記念館、[博物館構想]

原田 五高記念館は、地震でかなり被害を受けました。幸い、修復費用を文化庁から補助いただき、今、復旧工事をやっています。博物館的な構想を練つていて、3年後に工事が終わる時、化学実験場等、理学部系の五高時代の展示物、永青文庫関連を展示します。その他、地震で傷んだ古文書のレスキューもかなりの成果を上げています。それらも含めて、熊本特に熊大の古い歴史をほうふつさせるキャンパスづくりを目指しています。

その一環として、水俣病の資料、レスキューした文化財、ハンセン病の歴史を集めて、熊本の古い歴史と文学を見られるよう文書館を整備しています。できればそれを開放して、熊本大学の歴史や研究内容をアピールしようと考えています。

宮原 キャンパス内で完結するのですか？

原田 そうですね。五高記念館のような建物が残っているのは国立大学の中でも熊大くらい。五高記念館は、熊本大学の宝です。それを売り出して、地域の高校生を呼び集める大きな力にしたい。それによつて若い人が熊本に残るし、それが熊本の創生につ

原田 五高記念館は、地震でかなり被
受けました。幸い、修復費用を文化庁
補助いただき、今、復旧工事をやつていま
博物館的な構想を練っていて、3年後
事が終わる時、化学実験場等、理学部
五高時代の展示物、永青文庫関連を展

しの工を
原原 惹かれて
特に文系の学部は、そういう地域と
つながっていることが大きい。
原田 熊大はこれまで、文系のアピールが
少なすぎました。総合大学として、折角す
ばらしいものを持つていて、それを十
分利用しようと思っています。

「剛毅木訥」の熊大氣質

「剛毅木訥」の熊大氣質

その一環として、水俣病の資料、レスキューした文化財、ハンセン病の歴史を集めて、熊本の古い歴史と文学を見られるよう文書館を整備しています。できればそれを開放して、熊本大学の歴史や研究内容をアピールしようと考えています。

宮原 キヤンパス内で完結するのですか？

原田 そうですね。五高記念館のような建物が残っているのは国立大学の中でも熊大くらい。五高記念館は、熊本大学の宝です。それを売り出して、地域の高校生を呼び集める大きな力にしたい。それによって若い人が熊本に残るし、それが熊本の創生につながります。その他、地震で傷んだ古文書のレスキューもかなりの成果を上げています。それらも含めて、熊本、特に熊大の古い歴史をほうふつさせるキヤンパスづくりを目指しています。

宮原 NHKにも熊大の後輩がいて、今佐賀局でニュースデスクをやっている女性がいます。平成9年卒の法学部出身。彼女に、熊大をアピールする何かない?と聞いたら、私みたいにおおらかな性格が育つこと、宮原さんみたいに、全然勉強しなくてもNHKの局長になれることが(笑)をアピールしたらどうでしよう。それはそうだなと(笑)。彼女はヨット部出身で、記者になつて、子どもを二人育てながら大分や東京に転勤もして、非常に優秀な管理職です。

原田 僕たちの学生時代も、好きなことをしていましたよ。本を読んだり、クラブ活動をしたり。その余裕が、昔の大学にはありました。ところが今は、大学教育も高校並みにぎっしり詰め込まれたカリキュラムで、厳格な成績が求められて、余裕がない。それを文部科学省も経済界

ました。当時、文部科学省が国立大学を3つに類型化していました。(①地域貢献型 ②全国的な教育研究型(特定分野型) ③世界で卓越した教育研究型と。熊大でもいろんな議論をし、結局、この中で①を選びました。研究を頑張っている大学だから③に入るべきとの批判もありました。しかし、地域の国立大学はもつと地域に貢献することを考えなければならない。

おおら
伸びし

A close-up photograph of a dark, possibly navy or black, suit jacket's lapel. The fabric has a subtle texture and slight wrinkles. In the background, a portion of a red curtain is visible.

日本放送協会熊本放送局長 熊本大学長
宮原 孝明 氏 × 原田 信志

第7回目は、日本放送協会(NHK)熊本局開局以来初の熊本出身の局長であり、熊本大学OBでもある宮原孝明氏をお迎えしました。

地方で求められる国立大学の役割、熊本大学が育成すべき人材像について、“文武両道の熊大OB”であるお二人ならではの、熱い会談が交わされました。

対談 学長

熊本は元気印川

「久しぶりに帰つて来られた熊本の印象はいかがですか？」
宮原 地震の影響は大きかつたですね。私の実家も大規模半壊でした。熊本の人人が前にもまして一体感があり、「復興」という明確な目標の下にまとまっているなあとどう印象があります。

A medium shot of an elderly man with a white beard and mustache, wearing a dark suit, white shirt, and red patterned tie. He is seated, smiling slightly, with his hands clasped. The background features red wood paneling and floral curtains. A pair of glasses and a small cup are on the table in the foreground.



NHK 熊本放送局長 宮原 孝明 氏
MIYAHARA Komei

熊本県松橋町出身。熊本大学法学部を1987年に卒業後、日本放送協会入局。最初の赴任地が熊本で、県警担当記者だった。北九州放送局・熊本放送局放送部副部長・福岡放送局放送部副部長・放送総局・首都圏放送センター副部長・報道・取材センター社会部副部長、熊本放送局放送部長、広島放送局放送部長を経て、2018年6月、NHK熊本放送局の新局長に就任。大学時代は、野球部に所属。趣味は、ジョギング、読書、映画。

デジタル時代こそ、アナログ的個性が重要。

国際化とは、開かれた大学にすること
—熊大は、国際化にも力を入れておられますね。

原田 留学生をたくさん熊大に呼んで、熊大の学生は外に出す。そのためには英語教育が重要であると、定型的には動いていますが。僕は、大学の国際化というのは、大学が門戸を広げる、一般の人たちにとつても、

宮原 4月から外国人労働者の門戸が広がりますね。日本に働きに来る親についてきた子どもたちが、日本語を学ぶ機会がないことが課題になっています。大学が、学生やリタイアした65歳以上のボランティアを巻き込み、日本語を学べる環境をつくるのも一つの国際化ではないかと思います。生活